

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

プロジェクト名	健やかで幸せに学び楽しむまちづくりプロジェクト		実施期間	H30～H32	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	日本の総人口減少時代の中、南丹市も例外なく人口減少が続いている中で、誰もが生涯を通じて健やかでいきいきと暮らすことが求められる。本市においては、子育てに関する助成制度や各種保育サービスが充実するなど、子育て支援に積極的に取り組んでいるが、少子高齢化や核家族化、ライフスタイルの多様化により子育てを取り巻く環境が大きく変化しており、今後も世代のニーズを十分に把握した上での環境づくりが求められている。また、「まちづくりは人づくりから」という言葉があるように南丹市が将来的に発展していくためには、それを担う豊かな想像力と郷土愛を持った人材の育成が求められる。							
プロジェクトの目的及び概要	本市では市民一人ひとりの健康づくりや生活習慣病予防に取り組むとともに、関係機関との連携をさらに強化し安心して住み続けられるよう子育て支援をはじめとする各種福祉サービスの充実を図ります。また、幼児・児童一人ひとりに生涯にわたって学び続けることができる基礎学力の習得を図りながら「ふるさと南丹市」を愛する心を育み、未来に向かってたくましく生きる力を育成します。							
	総事業費（千円）	351,564	本年度事業費（千円）	93,925	交付金額（千円）	33,187		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	発達支援センター療育事業	交付対象事業	養育事業の実施		年間を通じた養育事業を実施し、早期発見・早期支援を心掛け、個々の成長の歩みを大切にしながら成長発達に合せた支援を行った 延1,971人			
	高齢者福祉サービス事業	交付対象事業	居宅から医療機関まで送迎		一般の公共交通機関の利用が困難な在宅高齢者をリフト付き車で居宅から医療機関までの送迎を実施した 利用件数 11,392人			
	妊婦健康診査事業	交付対象事業	妊婦健康診査公費負担受診券の配布		妊娠中の妊婦健康診査に使用できる妊婦健康診査公費負担受診券を配布した 配布者数207人			
	保育所教育環境整備事業	交付対象事業	知井保育所の屋根の修繕		保育を実施する施設を適切に維持するとともに、園児の安全・安心を確保した			
	小学校施設維持管理事業	交付対象事業	胡麻郷小学校の改修		通級指導教室開設に必要な改修を行った			
	障害者就労支援共同センター運営事業	関連事業	障害者就労施設のネットワークの構築		市内障害者就労施設のネットワークを構築し、障がい者の就労の場を確保した 参画事業者数 9事業所			
	ファミリーサポート事業	関連事業	地域の中での子育ての援助		子育ての「援助を受けたい人」と「援助を行いたい人」が会員登録し、地域の中で子育てを援助した。会員数331人 活動実績546件			
	子育てすこやかセンター管理運営費	関連事業	親子の育ちを支援する施設及びつどいの広場の運営		親子で育ちを支援する場を設け、多様な機会と居場所を提供した。施設来所者 延7,793人、広場来所者 延3,608人			
	子育て包括支援センター開設事業	関連事業	妊娠・出産・子育て支援を一体的に行う相談室の開設		保健師等専門職による妊娠届出面接を行い、妊娠期からの切れ目のない支援につなげた 104人			
	産前・産後サポート事業	関連事業	専門家や経験者等による相談支援、育児支援		妊産婦やその家族の精神的・身体的負担の軽減が図れた 訪問 109件、相談支援サービス実施 91件			
特別支援教室推進事業	関連事業	きめ細かで個に応じた指導や支援		子どもが授業内容を理解でき、確かな力を身に付けることができるよう支援した				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

成果指標①	成果指標の目標数値	地域福祉（地域福祉推進組織数） H35 5団体		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	1団体
	成果指標の達成状況	－	（左の理由）	成果指標の目標数値が将来年度であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	安心して子育てのできるまちだと思ふ人の割合（市民意識調査） H35 55.4%		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	55.6%
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	成果指標の目標数値は将来年度であるが、今年度で目標数値を上回った	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	乳幼児への保育・教育が充実していると思ふ人の割合（市民意識調査） H35 47.3%		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	41.7%
	成果指標の達成状況	－	（左の理由）	成果指標の目標数値が将来年度であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	子どもの教育環境の整備や妊娠、出産、子育てに係る支援をきめ細かく実施することで、子育てのしやすいまちづくりにつなげることができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	子育てに係る支援を積極的に実施することにより、安心して子どもを産み育てるまちづくりを推進することができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	安心して住み続けられるよう子育て支援をはじめとする各種福祉サービスの充実により、南丹広域振興局の「京都丹波ビジョン」に示す「誰もが住んでみたくなるまちづくり、人づくり」や「子育て王国京都丹波」の推進に取り組むことができた。			
	住民の自治意識を高める成果	地域・家庭・行政が一体となった子育て支援の取り組みにより、地域で子育てを支え見守る環境づくりや意識の向上を図ることができた。			
	リーディング・モデル成果				

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。